

第43回石狩管内PTA連合会 母親研修会 北広島大会

1 大会スローガン・母親研修主題

【大会スローガン】

『今、こころ輝いて、親として、人として』

【母親研修主題】

『豊かな心を持った子どもを育てる母親のあり方』

2 主催・主幹・後援

【主催】

北海道PTA連合会 石狩管内PTA連合会

【主幹】

北広島市PTA連合会

【後援】

北海道教育庁石狩教育局 北広島市
北広島市教育委員会

3 開催日・会場

令和元年11月9日(土)
北広島市立大曲東小学校

4 日程

受付	9:20	～	9:50
局説明	9:50	～	10:00
開会式	10:00	～	10:30
講演会	10:30	～	12:00
昼食	12:00	～	13:10
分科会	13:10	～	15:10
閉会式	15:10	～	15:20

5 開会式

大会長挨拶 石狩管内PTA連合会
会長 後藤 一樹
石狩管内PTA連合会母親研修会
運営委員長 街道 美恵
祝 辞 北海道教育庁石狩教育局
局長 堀本 厚 様
歓迎の言葉 北広島市 市長 上野 正三 様

5 講演会

【演題】

「子どもの瞳に輝きを！
～選手として 指導者として 父として」

【講師】

サッカー解説者 元サッカー日本代表
吉原 宏太 氏

6 分科会

●第7分科会

「Society5.0の大波に向かう学校・子供・保護者
どうなるどうする?！」

講師 NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム
理事長 新保 元康 氏

●第8分科会

「不登校の現状を考える」

講師 NPO法人ジャイフル
代表 スクールカウンセラー 渡邊 隆史 氏

●第9分科会

「食と栄養の魔法の合言葉」

講師 光塩学園調理製菓専門学校
教員 田安 透 氏

●第10分科会

「私の子育て実践論」

講師 北広島大曲中学校 教頭 吉本 浩志 氏

●第11分科会

「思春期の心を支える理解とかかわり

～自律心と自己肯定感を育てるコミュニケーション」
講師 北広島市子どもサポートセンター
相談員 滝川 秀子 氏

7 成果と課題

- ・全体講演の吉原宏太氏の話が面白く、努力の大切さや周囲への感謝の気持ちをもつことの大切さが参加者の共感をよんでいた。
- ・各分科会とも、各単Pからの提言をきっかけとして情報交流ができ、ご助言もいただくことができた。今後のPTA活動、保護者のあり方について考え、戻ってから環流したいという意見がたくさん寄せられた。

＜渡島PTA連合会＞

(子育て研修会)

1. 研究主題

「心豊かな子どもを育てよう」

～ 親の役割 地域の役割 ～

2. 開催期日と会場

令和元年 8月31日(土)

松前町パートナーシップランド

3. 日 程

受 付 9:20～ 9:45

開 会 式 9:45～10:10

情報提供 10:10～10:25

講 演 10:25～11:50

閉 会 式 11:50～12:05

4. 開会式

・大会長挨拶 渡P連会長 佐々木 高

・来賓挨拶 渡島教育局教育支援課長

箕浦 真人 様

松前町町長 石山 英雄 様

5. 情報提供

(1) 提供者

渡島社会教育主事会 佐橋 赴未 様

(2) 概 要

松前町の児童・生徒の健全育成の取組について、旧原口小学校の活用状況をもとに情報提供された。

6. 講演会

(1) 講 師 久 保 泰 氏

[松前神楽松前ブロック連合保存会]

(2) 演 題

「 民俗芸能を未来にわたす

松前町の発信 」

(3) 概 要

久保氏は、松前町の嘱託職員として松前城の

環境整備や観光案内を務めるかたわら、松前神楽松前ブロック連合保存会事務局長として民俗芸能の伝承に尽力を発揮されている。今回の講演では、「民俗芸能が地域を強く結びつけ、地域に暮らす大人と子どもを深く関わらせる」と話されました。

また、「地域が元気だと、子どもたちも元気で活気があふれるようにな



る」ことや「歴史的価値のある民俗芸能を受け継ぐ意義や大切さ」、「大人が民俗芸能を子どもたちと一緒に取り組むことで、歴史を守り続けていく誇りや郷土愛を育むことができる」と話されました。



3つの演舞やご自身の経験談を交えながら、地域と子ども、学校とのかかわりを分かりやすく話され、アンケートから「大変感動した」「子育てのために地域として何をすべきか PTA として何をするか考えるよいきっかけとなりました」という感想を多数いただきました。

7. 成果と課題

(1) 成 果

情報化・国際化社会が進んでいる今日、心の豊かな子どもを育成するために、古くから伝わる地域の伝統や文化等を活用し、地域と親、学校が協力して取り組むことの大切さを再確認する契機となった。

(2) 課 題

民俗芸能の発表時のマイクの音量調整や座席の配置による鑑賞の工夫、休憩時間の設定など、運営側としての反省があった。また、託児所を設けると子育て世代が参加しやすいとの意見もいただいた。

＜檜山 PTA 連合会＞

母親研修大会

1 大会主題

「ふるさと檜山を愛し、心豊かで生きる希望に満ちた子どもを育てる PTA 活動の創造」

2 開催期日と会場

令和元年 8月25日(日)

今金町総合体育館

3 日程

受付 9:00～9:30

開会式 9:30～10:20

パネルディスカッション

10:30～11:50

講演 12:30～14:10

閉会式 14:10～14:30

4 開会式

- ・大会長挨拶 檜 P 連会長 弥左 直人
- ・来賓祝辞 今金町長 外崎 秀人 様
北海道議会議員 内田 尊之 様
檜山教育局長 相内 修司 様
- ・表彰式
- ・オリエンテーション

5 講演会

(1) 講師

杏林大学教授
金田一秀穂 氏

(2) 演題

「言葉の教育」

(3) 講演の概要

日本語研究の専門家としての視点から、子どもの成長を支える大人として、普段自分が使っている言葉について、また子どもたちの言葉の環境等について、今一度見つけ直す機会が必要になってきている。

社会の急速な変化の中、価値観の多様化、少

子高齢化、核家族等によって、人と人のつながりも希薄化する現代、今後子どもたちを育み、支え合っていくためには、インターネットに代表される通信機器に依存しすぎることなく、直に言葉を紡いでいく必要がある。

また、生活習慣と、子どもたちの学力・体力・体の成長などの発達への影響について、自らの子育てのエピソードを交えながら、望ましいあり方を参加者と共に考える内容であった。

6 パネルディスカッション

檜山管内6町による PTA 活動の実践発表

- (1) 地域に即した PTA 活動のあり方
厚沢部町, せたな町
- (2) 人間性豊かな子どもの育成
上ノ国町, 乙部町
- (3) 望ましい社会と教育環境
奥尻町, 江差町

7 参加者の声

- ・パネルディスカッション形式で参加しやすかった。
- ・様々な町の実践に触れることができとても参考になった。
- ・今日学んだことは今後の子育てや生徒指導に活かしていこうと思った。

8 成果と課題

- 講演の内容は、参加者のニーズに合ったもので9割以上が「よい」という反応であった。
- パネルディスカッション形式は参加者にとって、参加しやすく、各学校の PTA 活動を深める事に繋がるものとなった。



日高地区PTA連合会

地区母親研修会

1 研究主題

『今 心輝いて、親として、人として』
～豊かな心をもった子どもを
育てるための母親の在り方～

2 開催期日と会場

期日：令和元年11月10日（日）
会場：様似町立様似小学校

3 日程（9：30～受付）

- ・10：00～ 開会式
- ・10：30～ 講演会
- ・12：00～ 昼食
- ・13：00～ 分科会
- ・15：00～ 終了

4 開会式 司会：（事務局長 玉手 広昭）

- （1）開会の言葉 地区P副会長 鎌田 直樹
- （2）大会長挨拶 地区P会長 能登 浩
- （3）祝辞 日高教育局長 波岸 克泰
様似町長 坂下 一幸
- （4）来賓紹介 事務局次長 森 真治
- （5）基調報告 母親委員長 元木 茂子
- （6）閉会の言葉 地区P副会長 中田 弘樹

5 記念講演

- （1）講師
貫田 桂一 氏（ヌキタ・ロフィスド代表
フードディレクター）
- （2）演題
「やさしい食育で才能を伸ばす」
～脳と体によい日高の恵とは！？～
- （3）講演の概要
日高昆布をはじめとする良質な日高の食材

が脳と体に有効であることをシェフとしての経験や知識をもとに、わかりやすくお話しされた。参加者からは「ためになる話だった」「今後、ぜひ活用してみたい」等の感想がよせられ、



大変好評を得た。日高昆布だしの試飲や、遠赤外線が効果的な粗塩の提供などもあり、とても楽しく、有意義な講演会であった。

6 分科会の概要

5分科会を構成し、下記のテーマにもとづき、フリートークのグループ討議を行った。

- ①子どもと向かい合って語り合っているか。
- ②お父さんも子育てに参加しているか。
- ③休日の過ごし方について、親子で取り組んでいることはあるか。
- ④いじめや不登校についてどう考えるか。
- ⑤時代の流行にどう対応しているか。
- ⑥家庭として適切な食習慣、生活習慣づくりに努力していることはあるか。
- ⑦子どもの読書活動を育むため工夫していることはあるか。



7 成果と課題

地区P研との合同開催7年目、グループ討議が活発におこなわれ、とても話がしやすい雰囲気だと好評であった。7つのテーマを絞った方がよいという意見も出され、今後の検討課題としていく。

<オホーツク中部地区PTA連合会>

(母親研修会)

1. 研究テーマ

研究主題「今、こころ輝いて、親として、
人として」

2. 開催期日と会場

平成30年9月22日(土)

美幌町公民館「びほーる」

3. 日程

受付	9:30~	9:50
情報提供	9:50~	10:00
開会式	10:00~	10:10
情報提供	10:10~	10:20
講演会	10:20~	11:50
閉会式	11:50~	12:00

4. 開会式

主催者挨拶

オホーツク中部地区P連会長 田尾航太
美幌町教育委員会教育長 平野浩司

5. 講演会

(1) 講師

金子耕式 氏

(ラジオパーソナリティ)

(2) 演題

「この時代の家庭と子育てに必要なこと」

(3) 講演の概要

①子どもに愛情を注ぐこと

昔も今も愛情無くして良い子育てはあり得ない。愛情がどれほど大切か考えるべきである。

②時間と感動を共有すること

親がいくら子どもを愛していても、この時代はその愛がなかなか伝わりにくい。そこでそうしたら良いか具体策について考えた。

③親のリーダーシップを確立すること

どんなに親しい親子関係が築けても、親と子どもが対等になってはいけない。親のリーダーシップがいかに大切かを考える。

④子育ての究極の目標を確認すること

多くの人々は、子どもの自立こそ子育ての最終目標だと考えている。しかし、自立したら、子どもたちは、一生幸せな人生を歩んでいけると断言できるか。人生には様々な問題や試練が訪れるが、子どもたちは何が起きてそれを乗り越えて幸せな人生を全うすることができるか。それを可能にする秘訣がもしあるとしたら、子どもたちには是非ともそれを伝えるべきである。

参加者 231名

6. 成果と課題

- (1) 講演が好評で、「子育てについて改めて考えるよい機会になった。」「時間と感動の共有を大切にしていきたい。」などの参加者の声が寄せられた。内容について次年度も同様のものを求める声が多かった。
- (2) 開会式及び閉会式を簡略化し、時間短縮を行った。
- (3) 開催時期については、開催市町村の事情を考慮すると今年度については適切な時期だった。
- (4) 北海道教育庁オホーツク教育局社会教育指導班社会教育主事にお越し頂き情報提供をいただいた。



＜オホーツク東部地区PTA連合会＞

(母親研修会)

1 大会主題

「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

2 開催期日・会場

令和元年11月2日(土)

小清水町多目的研修集会施設「愛ホール」

3 日程

- ・ 9:15～受付
- ・ 9:45～開会式
- ・ 10:00～情報提供
- ・ 10:15～講演
- ・ 11:50～閉会式
- ・ 11:55 終了

4 開会式

(1) 主催者挨拶

オホーツク東部地区PTA連合会長

中村 祐介

(2) 来賓祝辞

小清水町教育委員会教育長

加藤 友幸 様

5 情報提供

(1) 講師 北海道教育庁オホーツク教育局

教育支援課社会教育指導班

社会教育指導班主査

為 広 千 里 氏

(2) 内容「どさんこアウトメディアプロジェクト」他



6 講演会

(1) 講師 竹田津 実 氏

(写真家・エッセイスト)

(2) 演題

「野生動物の子育てを通して」～母性とは～

(3) 講演の概要

スライドを見ながら講話を聴き、「子どもを育てる」ことに対して色々な面で肯定し、母親が気楽で優しい気持ちになるような講演会だった。

① 動物は基本、雌だけが子育てをする母子家庭ばかりだが「キツネ・タヌキ・人間」だけが父親も子育てに力を貸す珍しい生き物である。

② キタキツネの子育てからは学ぶべきことが多い。子育てとは肩肘張らず、責任感を持ちすぎず、いろいろな環境を体験することが大切である。

7 成果と課題

・元小清水町在住の講師をお招きし、PTAのニーズに応えた内容の講演会が実現できた。内容も充実したものであり、参加者から好評であった。

・小清水町立小清水小・中学校PTAで実行委員会を組織したため、準備、運営を円滑に進めることができた。

・北海道教育庁オホーツク教育局より、インターネット利用についての情報提供があり、家庭・地域が直面している課題についても理解を深める機会となった。



令和元年度 帯広市PTA連合会

子育て研修会

帯広市PTA連合

- 1 令和元年度 帯広市PTA連合会
子育て研修会
- 2 開催日
令和元年11月17日(日)
(第63回帯広市PTA連合会研究大会と併せて開催)
- 3 場所
とちかちプラザ
- 4 日程
13:50 受付
13:10 開会式
13:35 分科会A
14:55 休憩
15:10 分科会B
16:30 分科会ごとに閉会式・終了
- 5 開会式
主催者挨拶 市P連会長 金尾 泰明
祝辞 帯広市教育長 池原 佳一 様
概要説明 市P連教育部長 佐伯 大輔



※ 開会式については研究大会と併せて行った

- 6 子育て研修会
 - (1) テーマ
新しい学校を考える
 - (2) 講師 森下智之氏
(白糠町教育委員会指導室長)
 - (3) 内容
 - ① 白糠町の教育について
 - ② 小中一貫教育について
 - ③ 白糠町のコミュニティ・スクールについて
 - ④ 今後の教育推進の充実を図るために



- 7 参加者数
105名
- 8 運営方法
今年度から帯広市PTA連合会研究大会と同日開催にした。
研究大会が2部構成で実施されていることから、「子育て研修会」についても、同じ講演を二回行う形で実施した。
運営については、帯広市PTA連合会の他の部とも連携をとりながら、本研修会については、子育て未来部が中心となり進めた。
帯広市教育委員会生涯学習部の後援もいただいている。
- 9 成果と課題
 - ・カードを活用し、参加者が意思表示をする場面を設定したことにより、参加型の研修会にすることができた。
 - ・今年度は、研究大会と同日開催にしたので準備などの負担は軽減できた。
 - ・帯広市で今後推進していく「小中一貫育」や「コミュニティスクール」について理解が深まり、参考になった。



釧路市PTA連合会 母親研修会

1 研究テーマ

- ・大会スローガン

「今 ころ輝いて 親として 人として」

- ・研修会の目的

家庭教育の現状を見つめ、学校や地域との連携を深めながら、子どもの健やかな成長を願う母親としての研修を深める。

2 開催期日 令和元年 9 月 11 日(水)

会 場 コミュニティセンター コアかがやき

3 日程

受 付	18:00~18:30
開 会 式	18:30~18:35
講 演 会	18:35~20:00
閉 会 式	20:00~20:05

4 講演会

(1)講 師

ハウスキーピング協会

整理収納アドバイザー 金 田 ひとみ 氏



(2)演 題

「親と子の整理収納術」

～整理収納で空間と時間と心を整える～

(3)講演の概要

① 片づけ教育とは

10年ほど前から学校教育では、片づけ教育を行っている。片付けから生まれる3つの力には、

- 1、選択力～自分で選べる力を育てる
- 2、創造力～相手の気持ちを創造する
- 3、習慣力～面倒なことでもやり続けなければならない力

があります。その中で決断力、行動力、やり遂げる力を身につけるとい教育を学んでいる。それに対し親の役目として、

- 1、仕組みを作る
- 2、正しい片付けを教える
- 3、子どもに寄り添う

この3つが大切になってくる。

② 仕組み作りのポイント

- 相手に合わせる ○適量 ○動作・動線
- 使用頻度 ○グルーピング ○定位置の決定が重要である。

③正しい片づけ方

- 1、片づけの目的を決める
- 2、動作・動線に配慮
- 3、子どもの物を整理する、適量を考える
- 4、収納を計画する
- 5、経過のを実行する
- 6、片づける
- 7、見直す

③大人の整理と効果

- 1、時間的な効果。二度買いや無駄買いをしなくなる。
- 2、時間的な効果。探し物や家事の短縮になる。
- 3、精神的な効果。家族が気持ちよく暮らせる。

整理収納の5か条

- 小さいところからコツコツと
- 忙しい人ほど「片づけ」を、寝る前の5分前でも
- 収納は使う物を入れる場所
- もったいないは禁物
- 買うは捨てるの始まり

(4)成果と課題

今回の片づけをテーマにした研修会については、これまでも要望されてきており、今回は大変好評であった。市P連の母親委員会ではこれからも親子のコミュニケーションを深める講演会などの開催に向けて努力を重ねていくということで今回の講演会を終了した。